

あんげろす

聖書の翻訳

世界の諸言語への聖書の翻訳は、世界へのキリスト教の拡大とともに進められてきた。18世紀末までに聖書の翻訳を持っていた68の言語のうち、50はヨーロッパの言語であった。ところが、19-20世紀には、世界宣教の波に乗って、アフリカ、アジアの諸言語へと聖書の翻訳が進んだ。世界の諸言語と聖書翻訳に関するデータを載せた Ethnologue12号によれば、1992年の時点で聖書の翻訳を持つ言語の数は1964である。

といっても、すべての言語に翻訳がなされたとはとうてい言えない。Ethnologueは世界の言語数を6528としている。これにしたがえば、翻訳を持つ言語は全体の30%ということになる。まだ全訳が出されていない言語の多くは少数民族の言語であるが、そのような言語にも聖書を翻訳しようと、現在も、1000以上の言語で作業が進んでいる。

1860-80年代にヘボン博士達が行った作業は、今も世界各地で続いている。

松本 曜 (言語学)

